

2009年6月3日

スカパーJSAT 株式会社

民間商船向け海洋ブロードバンドサービスの開始について ～インド洋・アジア・オセアニア海域の船舶通信が飛躍的に改善～

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：秋山 政徳、以下スカパーJSAT）は、インド洋・アジア・オセアニア海域における初の民間商船向けブロードバンド回線の提供を行うため、海洋ブロードバンドサービスのローミングに関する契約をKVH Industries, Inc（本社：アメリカ合衆国、Chairman, President and CEO：Martin A. Kits van Heyningen、以下KVH）と締結し、世界規模の船舶間通信を実現する民間商船向け海洋ブロードバンドサービス（以下本サービス）を開始しますので、お知らせいたします。

スカパーJSAT は、現在稼働中の通信衛星 JCSAT-1B および 2009 年下期に打ち上げ予定の Intelsat15 を用いて、ブロードバンド回線が不足していたインド洋・アジア・オセアニア海域における高速回線を提供します。伝送速度は約 1Mbps（ベストエフォート）を実現し、従来の同海域における通信回線の約 10～20 倍の速度に達します。また、太平洋、大西洋、カリブ海等の海域で既に船舶向け衛星通信サービスを提供している KVH 社とローミング接続を行うことにより、世界的な主要海域間での高速通信が可能になります。船舶通信では従量制料金が一般的でしたが、本サービスでは定額制の料金体系とする方針であり、船舶通信の費用削減を期待できます。年内を目標にサービス開始に向けた準備を進めて参ります。

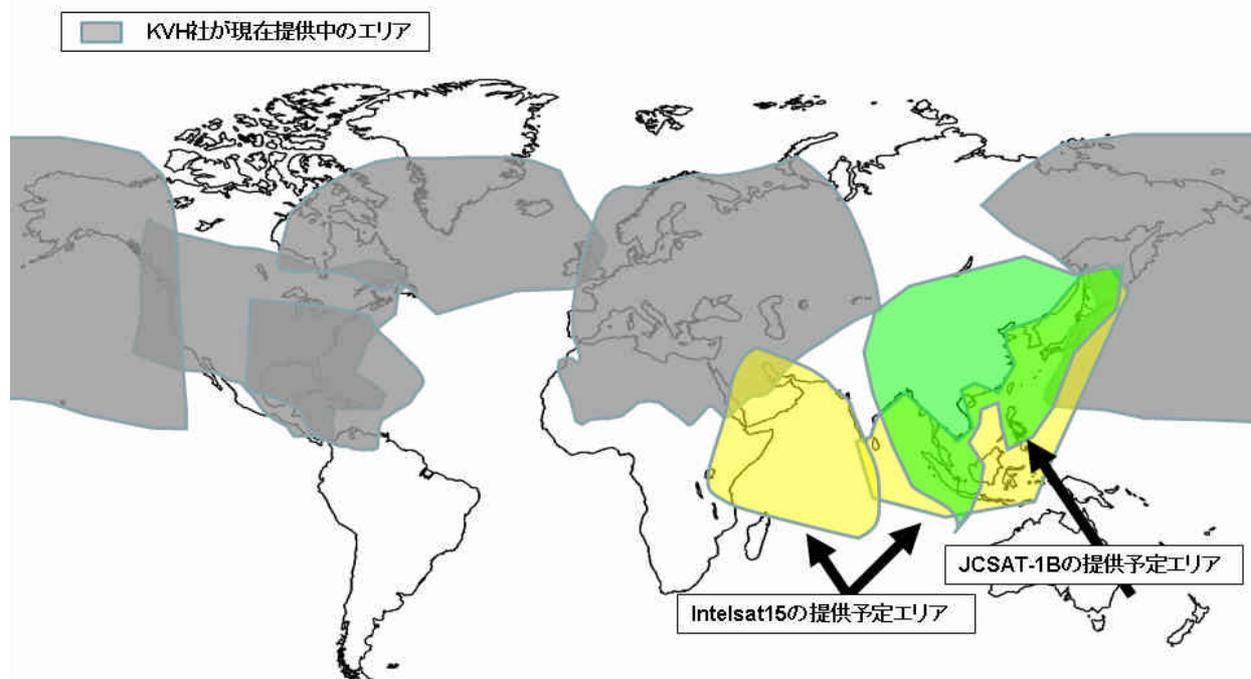
インド洋・アジア・オセアニア海域は世界中の船舶の約 20%が航行します。本サービスの実現により、同海域の乗組員や乗客らが陸上並みの快適な通信環境でインターネットサービスを利用できるようになり、船舶と本社の間でさまざまなデータのやり取りが可能になります。また、乗組員の福利厚生や海上のデジタルデバインド解消に貢献できます。

例えば将来は、船舶周辺の天気や波などのデータを大量に送り、さまざまな海上交通情報と照らし合わせることで、最もエネルギー効率のよい航路を選択できる船舶航行支援システムの開発につながる事が期待されます。これにより、世界各国が推し進める国際海上輸送の CO₂ 排出削減に寄与できます。

スカパーJSAT は、衛星通信サービスを通じ、今後の増加し続ける国際海上輸送の安心・安全・便利を支える事で、新たなビジネスチャンスを拓いて参ります。スカパーJSAT の新たなチャレンジにどうぞご期待ください。

以上

【KVH 社とのローミングイメージ図】



<スカパーJSAT 株式会社>

スカパーJSAT 株式会社は、放送と通信融合のトップランナーとして、アジア最大の 12 機の衛星を保有する、有料多チャンネル放送と衛星通信を提供している国内唯一の事業会社です。加入者数 370 万を誇る日本最大のプラットフォーム「スカパー！」、「スカパー！e2」、「スカパー！光」を通じて多種多様なエンタテインメントをお届けし、日本・アジア・オセアニア・ハワイ・北米をカバーする衛星通信サービスは、「社会の安心・安全・便利」を支えています。

<KVH 社>

KVH 社(本社米国ロードアイランド州)は、船舶や航空機の上で稼働する移動体用衛星アンテナを設計・製造・販売し、同機器を利用した衛星通信サービスを提供するプロバイダーです。KVH 社は、世界中のモバイルユーザーに、オフィスや自宅で利用出来るのと同様なテレビエンターテインメントサービス、デジタル通信サービス、およびワールドワイドなインターネット接続サービスを提供しています。